

-日商簿記3級検定試験-

第1問(仕訳)項目別対策

#11

～今回の対策項目～

- ・ 株式の発行
- ・ 帳簿の締切り
- ・ 剰余金の処分



解説動画URL

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



第1問(仕訳)項目別対策

<日商簿記3級検定試験について>

- ・試験時間 : 60分
- ・合格点 : 70点以上

	第1問【仕訳問題】	第2問【その他】	第3問【決算関連】
主な出題内容	現金預金 商品売買 貸付金・借入金(利息の計算) 仮払金・仮受金 固定資産(購入・売却等) 訂正仕訳 消費税・法人税 株式会社会計 決算整理・決算振替 剰余金の処分・配当 伝票の推定 証ひょうの読取り	勘定記入(T字勘定) 補助簿の選択 理論問題(語句穴埋め) 伝票(伝票の記入) 伝票(仕訳日計表) 商品有高帳 固定資産台帳	精算表の作成 損益計算書・貸借対照表の作成 決算整理後残高試算表の作成
配点	45点(3点×15問)	20点	35点
おすすめの解答手順	①(15分)	③(15分)	②(25分)
ポイント	ここで確実に高得点を! 目標は13問(39点)以上	初見で「難しい!!」と思わず冷静に! 確実に取れるところから部分点を!	時間を意識しつつ高得点を! 貸借の合計が一致しなかった時は 「必殺後回し!!」で次に進むこと!

第1問(仕訳)項目別対策

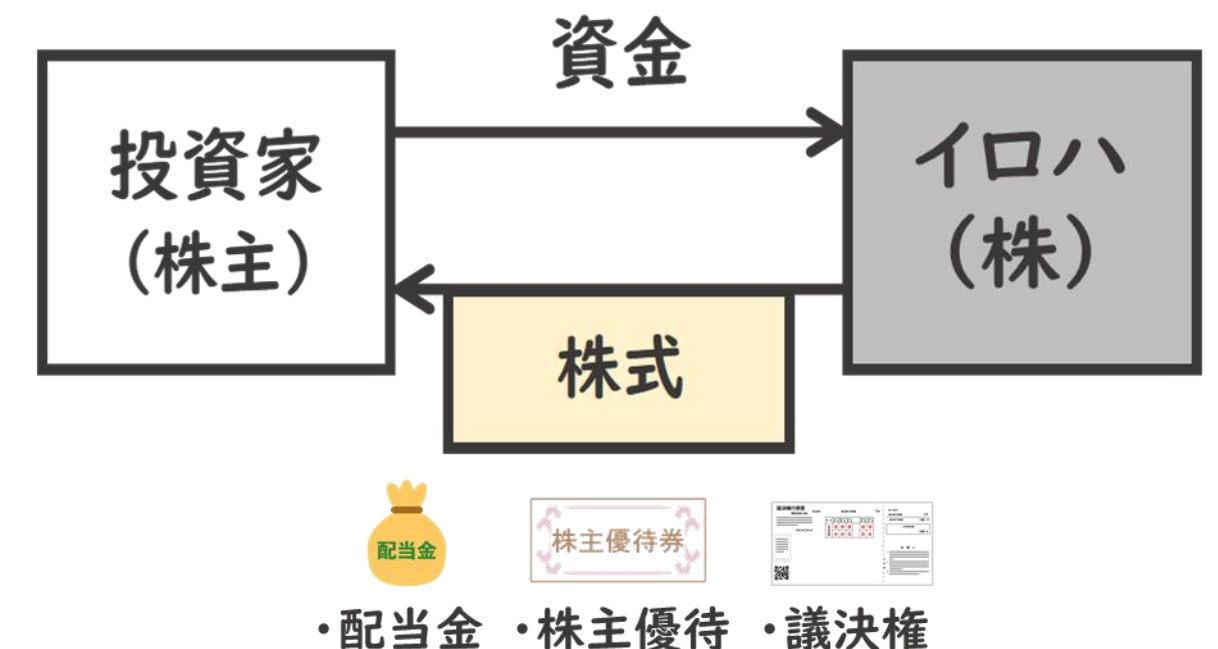
※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題1》

イロハ株式会社の設立にあたり、1株当たり500円で株式200株を発行し、全株式の払込みを受け、当座預金口座に預け入れた。

●Point●

株式を発行した時に払込みを受けた金額は、原則全額を「資本金」勘定で処理する。3級は、この原則処理のみ出題範囲となっている。例外の処理は2級で学習します。



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

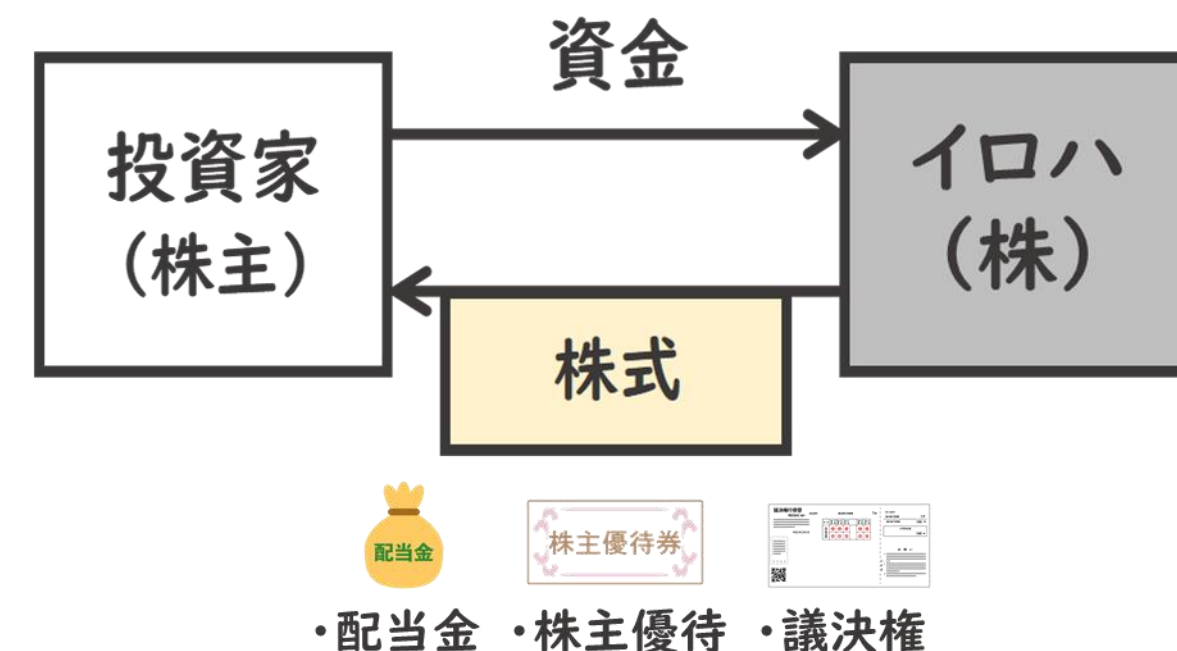
《問題2》

イロハ株式会社は新規事業を開始するために増資を行うことになり、1株当たり600円で株式200株を発行し、全株式の払込みを受けた。なお、払込金はすべて当座預金口座に預け入れた。



●Point●

株式を発行した時に払込みを受けた金額は、原則全額を「資本金」勘定で処理する。3級は、この原則処理のみ出題範囲となっている。例外の処理は2級で学習します。



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題3》

決算整理後の売上勘定の残高は60,000円、受取利息勘定の残高は3,000円である。これらの収益の各勘定を損益勘定に振替える。

●Point(帳簿の締切りまでの過程) ● ※仕訳問題では①と②の処理が問われる

①. 収益と費用の各勘定残高を「損益」勘定に振替える。(収益・費用の各勘定残高をゼロにする)

②. 損益勘定の残高(当期純利益または当期純損失)を「繰越利益剰余金」勘定に振替える。
(損益勘定の残高をゼロにする)

③. 資産・負債・純資産・収益・費用の各勘定を締切る。

資産・負債・純資産の各勘定残高は「次期繰越」として締切り、その反対側に「前期繰越」まで記入する。

④. 繰越試算表(範囲外のため試験での出題なし)を作成する。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題4》

決算整理後の仕入勘定(売上原価を示す)の残高は35,000円、保険料勘定の残高は5,000円、支払利息勘定の残高は8,000円である。これらの費用の各勘定を損益勘定に振替える。

●Point(帳簿の締切りまでの過程) ● ※仕訳問題では①と②の処理が問われる

①. 収益と費用の各勘定残高を「損益」勘定に振替える。(収益・費用の各勘定残高をゼロにする)

②. 損益勘定の残高(当期純利益または当期純損失)を「繰越利益剰余金」勘定に振替える。
(損益勘定の残高をゼロにする)

③. 資産・負債・純資産・収益・費用の各勘定を締切る。

資産・負債・純資産の各勘定残高は「次期繰越」として締切り、その反対側に「前期繰越」まで記入する。

④. 繰越試算表(範囲外のため試験での出題なし)を作成する。

第1問(仕訳)項目別対策

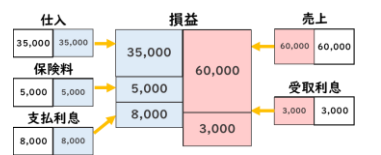
※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題5》

損益勘定の記録によると、当期の収益総額は63,000円、費用総額は48,000円であった。
この差額を繰越利益剰余金勘定へ振替えた。

●Point(帳簿の締切りまでの過程) ● ※仕訳問題では①と②の処理が問われる

- ①. 収益と費用の各勘定残高を「損益」勘定に振替える。(収益・費用の各勘定残高をゼロにする)
- ②. 損益勘定の残高(当期純利益または当期純損失)を「繰越利益剰余金」勘定に振替える。
(損益勘定の残高をゼロにする)
- ③. 資産・負債・純資産・収益・費用の各勘定を締切る。
資産・負債・純資産の各勘定残高は「次期繰越」として締切り、その反対側に「前期繰越」まで記入する。
- ④. 繰越試算表(範囲外のため試験での出題なし)を作成する。



第1問(仕訳)項目別対策

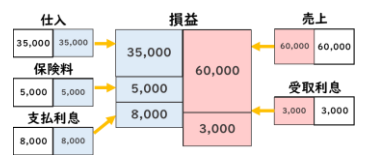
※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題6》

損益勘定の記録によると、当期の収益総額は70,000円、費用の総額は80,000円であった。
この差額を繰越利益剰余金勘定へ振替えた。

●Point(帳簿の締切りまでの過程) ● ※仕訳問題では①と②の処理が問われる

- ①. 収益と費用の各勘定残高を「損益」勘定に振替える。(収益・費用の各勘定残高をゼロにする)
- ②. 損益勘定の残高(当期純利益または当期純損失)を「繰越利益剰余金」勘定に振替える。
(損益勘定の残高をゼロにする)
- ③. 資産・負債・純資産・収益・費用の各勘定を締切る。
資産・負債・純資産の各勘定残高は「次期繰越」として締切り、その反対側に「前期繰越」まで記入する。
- ④. 繰越試算表(範囲外のため試験での出題なし)を作成する。



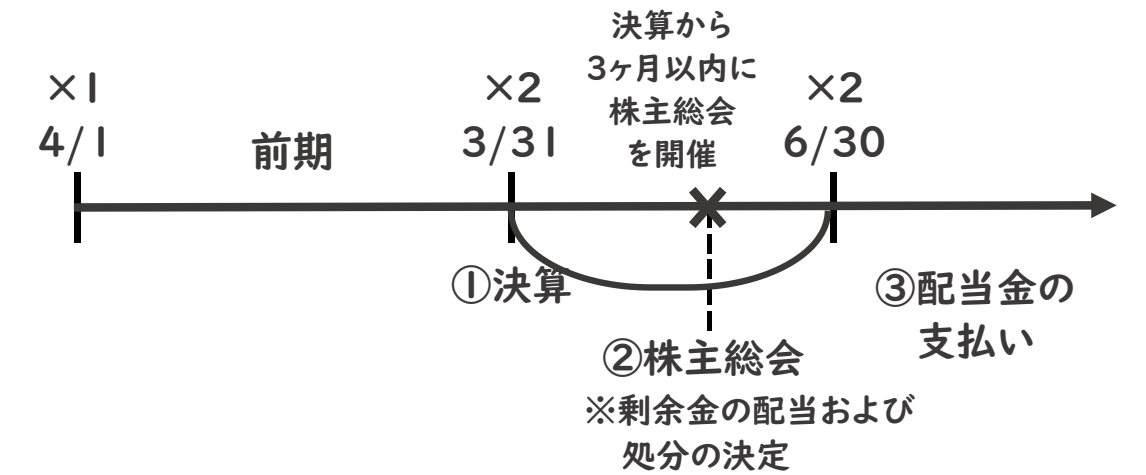
第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題7》

株主総会において、繰越利益剰余金100,000円の一部を次のとおりに処分することが承認された。

・株主配当金:20,000円 ・利益準備金の積立て:2,000円



○用語○

株主配当金…株式会社が獲得した利益の一部を株主に分配するお金

利益準備金…将来の備えのために利益の一部から強制的に積み立てるお金

この準備金は会社法によって積立てが定められている。

(配当がある場合は、配当によって減少する額の10分の1を積み立てる(上限あり))

